

都市化の傾向

丹生を変えた原発

敦賀半島の北端にある町丹生は発電所が建設されて様相を一新した。現代では観光地にもなり、漁法も改良されて、ぐんと近代化されている。

若狹灣の東端、美浜発電所の対岸に丹生という部落がある。ここは地区六八戸のうち寺院三戸を除くと、全ての家が漁業に従事している。そして、発電所が建設されて以来、海水浴場として有名になった。住民の殆どは副業として民宿を営んでおり、生活様式も以前と比べて大きく変化をたどつてみよう。

備は極めて遅れた。そのせいか、丹生には部落独特の封鎖社会が作りあげられていた。誘致問題がもち上ると、賛否意見は互いに激しく衝突しあつた。反対意見には、「従来の自給体制が崩壊する」とか「部落秩序が破壊される」等が挙げられる。しかし、部落内では、生活様式も安定期にはいり、先にも述べた定置網漁法が設と代償に道路整備、諸施設と大きなウエイトを占めるよ

であつた丹生は、大阪・名古屋からの観光地園となつたそれに伴ない漁業にも少なからずの変化があつた。一つの例として、大敷網漁法(網を沖合に投げて引き上げる漁法)が定置網漁法(網を一定期間沈めておく)に替へられてゐる。そして現在では丹生

丹生に原莞致致の話がも
ち上ったのは昭和三十七年
頃。当時、丹生には大八車
一台がやっと通れるような
道しかなく、敦賀などへ出
るにはもっぱら船に頼って
に向上し、陸の孤島が存在
も相まって、獲る漁業から
採草（あわび・わかめ等）
も盛んで、漁獲高は増加の
傾向にある。また最近、日
本近海での二百カイリ問題

福井県物である。一階は原子炉の二重を飛んでいる放射線（を）で終わっているとい

不公正な公報

PR・原子力センター

不公正な公報

PR・原子力センター

には原子力発電の広報機関として、関西電力が運営しているPRセンターと、国・県・関電が運営している財団法人福井原子力センターとがある。両方とも入場無料で気軽に見学できるようにになっている。原子力発電の基礎知識を得るには最良の場所であろう。

PRセンターは、美浜原子力発電所のすぐそばにある二階建てでキノコ型の建

模型を置いて部屋を取り囲むようにして、ボタンを押せば原子力関係の説明用フィルムをヘッドフォーンで聞きながら、五人同時は見られるビデオ設備があり、他のおもしろい設備があった。二階は中央にホールがあり、そこで原子力についての映画を見たり解説を聞いたりすることができる。そのまわりの展望台には、望遠鏡が備えてあり、美浜発電所や水晶浜の海水浴場が見わたせるようになっている。

福井原子力センターの建物も二階建てで、中央に丸い展示室があり、それをはさんで両側にロビーで研修室には、おかれていた。展示室には、発電のしくみ、将来の原子力カーその他の原子力に関する各コーナーがある。この原子力センターはモニターリングシステムはモニターリングシステム（各地区で空中線量（空気、水、土壌）を測定し各町役場に知らせるシステム）の中央センターである。また、ここは福井県が発行している広報誌「アトム」を編集している所でもある。その他に、原子力についての図書や説明フィルムを無料で貸し出している。

ところで、PRセンターや原子力センターを見ていると、原発についての長所だけを大きく取り上げて、短所はほとんど触れていないようだ。例えば、PRセンターでは放射能汚染や排水の影響については、あまり触れておらず、「原子力は未来のエネルギー」「原発は安全」と大きく掲げていた。また、ビデオでは、「日本にウランはあ

るか」という題のフィルムでは、ウランの採掘場である人形峠のことにあまり触れず、あとはラジウム温泉

作る漁業への転換が急がれ

建設当初、心配された影響も大規模なものではなく、原発による丹生湾内の浄化で、少し被害が出た。それには、真珠の養殖が不可能になったことや、湾内のナマコが採れなくなった等がある。しかし、放射能による被害はまだ一度も起きていない。住民対象のアンケート調査でも「放射能による漁業への影響なし」と回答した者が大半を占めている。このように、丹生は現在のところ、漁業面・観光面共に発展しつつある。

政治色強き原発建設

[illegible]

きいている。

日本が多く使用しているところで、ウラン二三八からできるプルトニウムを使用した高速増殖炉や、使用場に使われる「遠心分離法」には、それがよく表わ

対策を

原子力発電所に対する住
の反対運動はあったもの
、関西電力による道路や
戸大橋の建設を交換条件
して承諾された。

れ、住民の生活水準も急速
に向上した。（その補償金
の一部で、大島漁業組合
ンターも建てられた）
しかし、汚染された時の
補償問題については、建設
中の現在でさえ見通しもつ
いておらず、住民の不安も
つのる一方である。けれど
は、遠心分離法（ウラン
分離法について説明しよう
ウランを濃縮するという
ことは、ウラン二三五と仲
のウランとを分けることで
ある。従来は、**拡散法**
（核膜を使ってウランを分
ける方法）が世界各国で使
われていた。しかし、現在
は、**遠心分離法**（ウラン

この道路や青戸大橋の建
 によって、つい最近まで
 「陸の孤島」と呼ばれて
 た大島が、今では、夏に
 訪れる海水浴客が甲子か
 もすでに建設は九分どおり
 完成しているの、今さら
 騒いでも、どうしようもな
 いという考え方が強い。そ
 ういふ

問題多

また、関西電力より一部
海の買い取りに支払われ
補償金が、住民に分配さ
れた。汚染、サザエやアワビの
難等々を頭をかかえている
らしい。
しかし、それでは遅すぎ
るのではないだろうか。も
とで発電所ができてから、事
後処理（除染）に今回を目

「原子力は未来のエネル
ギーか、凶器か？」これが
新聞部の出した問題であ
る。そして、その原子力を
使用する原子力発電所（以
下原発と略す）に今回を目

のため 放射能漏れや海水
汚染等の問題については、
原子力発電所が運転を開始
してから取り組むつもりで
いるらしい。

「原子力は未来のエネル
ギーか、凶器か？」これが
新聞部の出した問題であ
る。そして、その原子力を
使用する原子力発電所（以
下原発と略す）に今回を目

各原子力発電所の位置

故でも起きてしまつては、
 どうにもならない。近くの
 丹生、大飯等の発電所を見
 て、考えることもできるの
 ではないかと思う。住民の
 不安等も考慮し、補償等の
 諸問題に、一刻も早くとり
 かかるべきであらう。

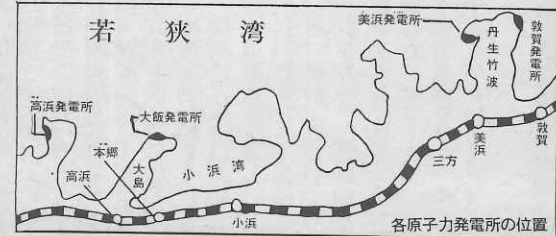
今年の9月に、日本とア
 メリカの間で、東海村核燃
 料再処理工場のむこう二年
 間の運転を認める条約が結
 ばれた。このように、今の
 日本の原子力業界は、アメ
 リカの同意がなければ動け

若 狹 湾

高浜発電所 大飯発電所 本郷 高浜 大島 小浜 高浜 小浜

なという状態である。今
そういう立場におかれて
る原子力を使用する原発に
将来の日本の発電を任せる
のには、問題があるので
ないだろうか。

昔、日本の火力発電は、石
炭を使って行われていた。
そして、石油の出現によ
って石炭はすっかり影を
ひそめてしまった。また、閉山



早急な対策を

大飯町では、原子力発電所が建設中のため、発電による影響はあまりないようだ。現在のところは、原子力発電所建設地確保のため、部の海を関西電力が買い取り、漁場が減少したといふことだった。

原子力発電所に対する住民の反対運動はあったものの、関西電力による道路や青戸大橋の建設を交換条件として承諾された。

この道路や青戸大橋の建設によって、つい最近までは「陸の孤島」と呼ばれていたも建てられた。しかし、汚染された時の補償問題については、建設中の現在でさえ見通しもついておらず、住民の不安もつる一方である。けれどもすでに建設は九分どおり完成しているの、今さら

のウランとを分けることである。従来は、「拡散法」(核膜を使ってウランを分ける方法)が世界各国で使われていた。しかし、現在は、「遠心分離法」(ウラン

問題多き原発

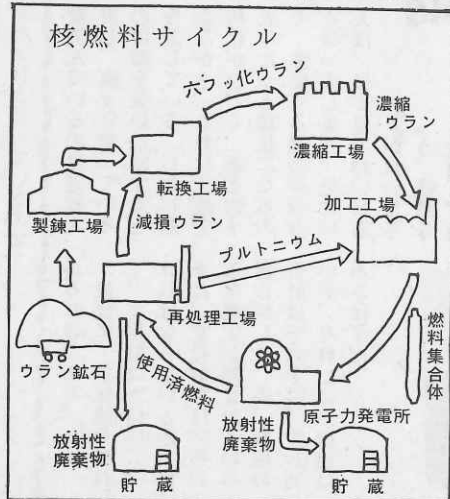
（親原子力は原子力は未来のエネルギーか、凶器か）という最初に述べた問題に対し、「今のところ原子力では、未来のエネルギーとして考えざるを得ないのではなか」という結論に達した。しかし、現在の状態で大半を占めている今、今度になる炭坑もあいつぎ、まだ使える炭坑を水で埋め、再び石炭の採掘ができない状態にしてしまった。そして、石油による火力発電がた。しかし、現在の状態で、原発はウランと放射線物質を扱うので、一層慎重に事が運ばなければならない。国も電力会社も、現在建設計画中の原発に資金を投じる以上に住民の不安を取り除くために、も、原発の安全性等に資金

は、原発に切り替えようといわれている。

確かに、石油や石炭の埋蔵量は、年々減少して行き底をつくであろうから、それに変わる発電資源が必要であろう。水力発電と地熱発電に頼ろうにも、発電量は、先に述べたように、核の自主的な開発・管理、安全性の問題等、未解決な部分が多すぎる。

新聞部による原発周辺の住民への「原子力発電をどう考えているか」というインタビューに対し、「不安をつぎ込むべきではないだろうか。また、住民は、国や電力会社からの知識だけにとどまらず、自ら外に進み出て色々な事を吸収し、正しい知識を正確につかむことが必要だろう。」

がそれでは足りないのも事実である。 そこで、原発というものが必要になってくるわけである。かといつて、放射能というものが人類の手によってまだまだ完全に制御ができない状態であるのに、現在のように、原発建設予定地を全国十数ヶ所に定め、工事を進めようというのは	「である」と回答した人が大半を占めた。やはり、住民もまだ、原子力というものが人間の手で完全に克服されていらないということに不安の色を隠せないようである。
は立証すみであった。しかし	今までに述べて来た事は我々新聞部員が原発について調べ、話し合った結果出てきたものである。これを読んだことを機会に、「原発」というものを改めて認識し、その問題については非考えてもらいたい。



のわずかな重さの違いでふり分ける方法）に転換されようとしている。後者は前者よりも、一割ほど設備費が高いが、濃縮に用いる諸経費が前者よりも安くつくという利点がある。この「遠心分離法」というのは、最高機密で、各国がこの研究を進めているが、お互いけん制し合い、少しでも相手国の研究を盗もうと、激しい情報戦争を繰り返している。

なければ、この情報戦争には勝てない。こんな競争の中に、「遠心分離法」が、存在しているのだ。

話は変わるが、世間では原子力爆弾と、原子力発電を同じようなものと考えている人が多い。しかし、原爆に使われているウラン二三五は九十％以上に濃縮され、発電用は三％未満に濃縮される為、低濃縮ウラン（低濃縮に濃縮されたウラン）を使う原子炉は爆発しない。しかし、高速増殖炉恒化では、プルトニウムに対する制御がない為原爆を作ることができるので、アメリカ、各国の操業を止めている。しかし、これが各国に使用されだすと、当然、危険性を帯びてくる。だからこそ、私たちは常に原子力に関心を持ち、原子力問題から決して目をそらしてはいけないのだ。

白虎総合優勝
迫力欠けた

一日順延され、去る九月二十六日(月)に第三十回体育大会が開催された。

今回は、生徒が全員役割をもったり、玉入れを一般参加させる等、運動部会の配慮に成果があったようだ

の下で、第三十回体育大会が挙行された。

今年の大会は、例年になり一般の人たちが参加する玉入れ合戦、異様な雰囲気醸し出した着付競争などが行われ、なかなかムー

三人で一つの仮装を施したという点において、変わった傾向でおもしろいものがあった。来年は先生方全員を集めて、一つの「仮装団体」なるものをつくつてみるのもよいだろう。

ドを作りましたことには成功した。が、その反面、主役ともいうべき応援合戦での失敗が目立ち、大育大会の印象を少なからずも気まずくしている。

今回の体育大会は、主役ともいうべき応援団の、士気鼓舞の失敗、四チーム共に同じような応援をしたことなど、学年演技の改善が望まれる。

応援合戦に優勝した白虎の応援も完全なものではなく昨年の応援合戦にみられた痛快さや迫力にかけつたように思われる。このことは他の応援団にもいえるであらう。

試みで

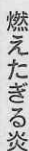
ファイアー

体育大会終了後
第二グラウンドで
希望参加によるファイアー

踊るかどうか心配された
ようだが、大部分の者が、
見よう見まねで踊ってい
る。そうすれば、いっそう楽し
いものとなるのではないだ
ろうか。

そのうちにファイアーエ
火がはいり、参加者自らの
リクエストなどもあって、
コロシアスファイアーも曲
重なるうちに盛り上がって
いった。終了時刻がきて、
例年どおり、「今日の日は
さようなら」を歌いなが
徐々に火が消され、余韻
残して無事終わった。

今年は参加者が少なく、
軽音フォークの伴奏もな
った。やはり伴奏があっ
た方が、歌いやすかったの



今年も 三年生有志による 仮装行列 が行われ、たが、午後の部の最初の行事であったせいもあって クラス独自の創造 力・企画力が欠けていたような感 めと思わ

今回到の仮装行列は多くの時間をかけて準備したにもかかわらず、あまり各クラスの個性が出ていなかった。これは、仮装行列のないのではな

このことからわかるように、来年度はこれらのことを教訓として、もっと害のあるものにせねばならぬうか。



流行のファッション？

流行のファッション？

今年の応援 合戦の結果は 位 白虎、 二位 青龍、 三位 玄武、 四位 朱雀で あった。それ ぞれのグルー プは趣向を凝 らしていて、 衣装も色あざ やかで美しか った。しかし その内容は迫 力に欠けたり 個人演技が目	決まった以上は、最後まで 責任を果たしてもらいたか った。 やはり体育大会では、だ れが見ても、充分な練習を 積んだ結果だという印象が あってこそ、日頃の練習が 報われるのだろう。 だから、来年からは応援 団全員での練習を充分で るようにメンバーの決め方 を考え、よりよい応援合戦 を望みたいものだ。	
--	---	---

イ / チーズ

玄武応援団

今回の
古都路は
奈良市の
佐保路を
訪れてみ
た。

近鉄線
の難波駅
から奈良
駅まで、
快速急行
（二百九十

ですましているようであ
る。また、五大明王は観
音菩薩を守るかの如く、
まわりを取りまいてい
る。他に、心ない人が鎌
で石棺を傷つけた跡が残
っている。これは縁が波
のように、すり減つてい
て何だかかわいそうに思
えてきた。佐保路は舗装
過ぎると、国宝の五重の
小塔がある海龍王寺があ
る。（拝観料百三十円）
海龍王寺を出て、もう少
し歩いて行くと、法華寺
に着く。（拝観料百三十
円）法華寺は日本総国分
寺である東大寺に対して
日本総国分尼寺である。見
どころは何といっても

消えゆく文化

消えゆく文化財

佐保路

西方に行くと、水田の中に梵字碑（ほんじひ）が立っている。そこを右に曲ると不退寺（ふたいじ）別名業平寺がある。不退寺は在原業平（ありわらのなりひら）が建立した寺である。（拝観料二百円）重要文化財の観音菩薩は頭にリボンを付けて歩いてコナベ古墳を

されて車が多く、これでは昔の史跡を訪ね歩く感じがしないので、不退寺を出てから、うら通りを歩いてみた。

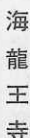
国道二十四号線を越えて、ウワナベ古墳に着いた。そこには釣人もいて、さる。怒った顔は、悪事ををたらいた人をにらみ、

国宝の十一面観音立像はその名のとおり、顔が十一あるが、ただそれだけではない。注意して見る

と、顔の表情が様々で、怒っている顔もあれば、微笑んでいるものもあるし、高々と笑っているものもある。怒った顔は、悪事ををたらいた人をにらみ、

ある。そこは国立の史跡公園になっていて、たくさんの人が休日を楽しんでいて、平城宮跡を通り抜けて、約三十分歩いて行くと、西大寺は目の前である。(拝観料百五十円)

西大寺には以前、東塔があったが焼けてしまい、今は東塔跡がしみじみと



家庭クラブ 積極的な活動を

我が校の女子生徒に「あなたは、家庭クラブ員ですか」とい
う質問をしたところ、「いいえ」と答えた人が全体の六割も占
めていたこれは、女子生徒が家庭クラブ員という自覚を持って
いないことを物語っているようだ。

以上新聞部では、家庭ク

そも、ミナー等が行なわれていた。その他、ホームプロジェクト(家庭の授業で習った事)を生かして、自分で計画を立てて実践すること)として「保育」に関する研究発表は、表等も行われていた。	ラボの必要性など殆ど無いのではないだろうか。	ラボについてのべてきたわけだが、この問題は、生徒一人一人が意識してこそ解決できるものなのだ。特に女子に関しては、『家庭クラブ』という名前だけでなく、ざらに、考えようとし
昭和十四年に、府分が家庭クラブ員であることすら知らない人が多い。	では、「話し合うことが別にない」との理由で、殆ど開かれていない。以前のよ	くない人が多い。ただこの記事を読み流すだけでなく、この問題について真剣にと

員会の指示により発足したこのクラブは、家庭科の授業で、先生から説明をうけるだけになっていない、活発化につなげてほしいものだ。

今後、現在のような状態が続くならば、教科の一

参考
——インタビュ結果——
「あなたは家庭クラブ員であるか」との問いに、「はい」と答えた人、百二十人中四十八人、「いいえ」と答えた人、七十二人。

かを、いろいろと各国が
えているらしい。

日本も今はそれほどひど
くはないが、何年か後に知
えが襲って来るという話
今度また、米価が上がつ
こうということと食料の妨
段が上がり、日本国内の
間は続々と倒れていき、口
本がつぶれるというはめに

五分前終了

いわれるかも知れないが、次の授業の生徒が更衣室に入ってくるので、普通よ多くの時間を要する。また、終業時間の五分後にわたれたら、必死になつて、着替えても、遅れるのは確である。四時限目も遅終わられると、昼食をとずに議会などに出る生徒

教師が生徒に意見する場合、教師は、真に生徒のことを考えて教師として行動して来たか。という訴えかけの言葉である。」

の話を始めた。制服問題について、本校では制服制度がしかれているが、何のために制服を着るように決められているのか。なぜ気候を無視した衣替えを行うのか。その様な問題について教師は説明し生徒と共に話し合おうとしたことがない。いつも一方

學校俱独自の改正案を、自治会に何の連絡も無しに女子だけに知らせるなど、制服の乱れに対する注意にしがたき男児冬服のホックがはいても、是れでいたらず、いきなりはきずれては首をしめて行かぬとも思ふは、ある教師は夏になると上着を脱いで下着で校舎を歩き回る。我が人主の先達たる教頭

食料を大切に

現在の世界の人口は、四十億人である。この先口はまだまだ増えるだろう。しかし、この人口に食料が追いつくかどうか、が全世界の悩みの種である。この悩みの解消方法は、砂漠を良い田畑にするとか、

間を生む人数を制限する

約人う料今漢人
 なるか。このことは、世界
 の人間一人一人が食料を大
 切にしていかなければいけ
 ないことだが、日本に住ん
 でいる人間だけでも、もう
 一度食料の尊さを振り返っ
 て、自分たちが、今までし
 てきた無駄の数々を反省し
 ようではありませぬか。
 △Y・F▽

意を受けるだけである。の授業なら一分もあれば次の授業の準備はできるもちろん、次が、体育や別教室などへ行く場合は外ではあるが。

体育の終業のチャイム鳴って、終わってしまふと次の授業に遅れてしまうので困るのだ。「そんなの早く着替えればいい」

例 先生方に望む

高校生活も残すところあとと半年。卒業までに教師に言ってやろうと思つていたことがある。それは、「ここがバカ野郎／＼」なんて無意味な言葉ではなく、「俺たちは、敗北をいつか用ひたい。前には終つてもらいたい。二年一組 一同

トイレ
清潔に

レを
使おう

全面改築ならず

— 校 舎 —

三十一日から八月三十一日にかけて、北舎の外壁改修工事が行われた。 「外壁改修工事」つまり、壁の塗り替えである。 この北舎は同時に建てられた南舎に比べて、外壁のいたみがひどい五月には生物が崩れ落ちるはあが、まだ全面改築といふことだった。それに、全面改築が必要であ	その結果、今回の工事となったわけだが、四十九年に教育委員会に申し出て、三年後の今年になってやっと工事が行われたということは、やはり大阪府の財政の苦しさの原因であらう。 大正十三年三月に建設されて以来、今年で五十五年目にあたるこの校舎は、すでに建物の耐用年数の五十年を越している。しかし、教育委員会の技術者によって調査された結果、この校舎は部分的に改修する必要はあるが、まだ全面改築といふことだった。それに、全面改築が必要であ	た。これを教育委員会に対しては、これを	全面改築を申し出した。
---	--	----------------------------	--------------------

も、現在の大阪府の財政状態では、すぐに工事に取組む掛かることはおそろく無理だろう。

今回の工事の内容について少し説明しておく、この外壁改修工事というのは、単なる化粧直しの意味ではなく、壁の塗り替え、ではなく、崩れかかった校舎を、ちょうど皮に包み込んだように、壁をしかり固める役目を果たしているのだ。

工事のための足場は、北舎の外壁全面にわたって組まれたが、実際は東・南壁だけで、北壁の方はあまり手をつけられなかった。なぜなら、北壁の外が非

壁は窓も昨年アルミサッシに取り替えたばかりであったので、建て直しでもしたかのように美しかった。

北舎はこの工事のおかげで、大地震でも起こらない限り、当分の間はコンクリート落下等の事故は、まず防げる見込みであるようだ。

意外な先生

先生に

今回の「先生にインタビュー」は、『生きがい』ということをテーマとし、二人の先生にインタビューしてみた。

生の一面

にインタビュー

ひび!!(こくことうなずきながら)

高校時代の生きがいを書いたせましたか——後悔ばかり。(昔を懐かしむ)

たちが、実際にいること。先生方はご存知だろうか。クラスの半数が授業に促されて、その授業の先生に叱られたり、充分テスト範囲まで進めず、授業延長とむむり、休憩時間がなくなつたり、

を言える相手は自治会顧問
団程度で、教師に対して生
徒の意見を反映できるほど
叱でもない。その一つの手段
として発足した「学校生活
を考える会」も開店休業の
状態である。そこでやっと
かったなあ／（「本当だ／
」と死に主張する）
ハンドボールに自信はあ
りますか——今はない。目
の負傷と年齢的なことから
自分の奥さんについてど
う思いますか——適当に書
いたげよ／（最初はこう言
ったが……）——まあ十人並
かなあ。悪く言ったらダメ
だし、良く言うとはずかし
い。……やばい。業の口か

「制服は君たちの先輩が決めたものだから着ろ。」と、訳のわからないことを言うだけ。是非、その説明がほしい。

また、風紀部会が女子の夏ブラウス改正の部会案を

すかー 毎日を楽ししく生きていくことじゃないかな。もちろん僕の生きがいの中には、教師、家族などいろいろなものが含まれてるしキリスト教の地球誕生と合



「どうか教師の方々、考えて
いただきたい。
まだ書きたりぬが、次の
機会にしたい。」
(コ一)

意外な先生の一面

先生にインタビュ—

今回の「先生にインタビュー」は、「生きがい」ということをテーマとし、二人の先生にインタビューしてみた。

び!! (こくことうなずきながら)

高校時代の生きがいを思い出せましたかー後悔ばかり。(昔を懐かしむと)

う思いますか——適当に書
いとけよノ（最初はこう言
ったが……）——まあ十人並
かなあ。悪く言ったらダメ
だし、良く言うとはずかし
い。やっぱり僕の口か

さて、ちよっぴりユニークな質問も取り入れてみたので、先生方の意外な一面をのぞくことができたと思う。このインタビューにより、先生を身近に感じ、大

阿倍高の諸君
トイレを

清潔に使おう

場を借りて、意見を述
ことができたが字数の
がある。とにかく、そ
治会に何の連絡も無しに女

服問題について、本校
制服制度がしかれてい
何のために制服を着
に決めているの
なげ氣候を無視した衣
何も言わずに首をしめて行
うのか。その業は
く教師から思えば、ある致

子だけに知らせるなど、制
服の乱れに対する注意にし
ても、男子冬服のホックが
はずれていたらしきなり

[illegible]

服は君たちの先輩が決
めたから着ろ。」と、
ものだから着ろ。と、
いいたくない。と、
是非、その説明がほ
うか教師の方々、考えて
まだ書きたりぬが、次の
機会にしたい。

(コ一)

毎日を楽しく生き
たことがあったよ。かん
しゃく持ちの僕は、お札を
メチャクチャに破つてしま

教師、家族などいろいろなものが含まれてるし、
 スト教の地球誕生と
 ったこともあったなあ。と
 っても気短かだったからね
 今でもそうだけど。
 さて、ちよっぴりユニー
 クな質問も取り入れてみた

的な地球誕生の違いを
 感じていますか——僕

り、先生を身近に感じ、よ
 りいっそう深い理解を求め
 るのである。

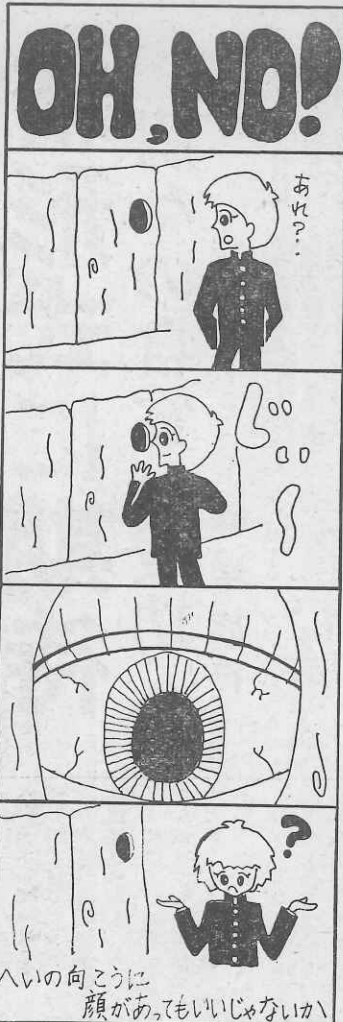
ので、先生方の意外な一面
 をのぞくことができたと思
 う。このインタビュにより、

先生を身近に感じ、よりいっ
 そう深い理解を求めらるるの
 である。

スト教信者だけだと、
書によると：（こう
突然、聖書を持ち出
て、記者はあせりのひ
たタリと流す）

お知らせ
我々新聞部では、原子力
発電所についての展示を南
舎二階の教室でしています

と教と現在の地学と、立場がちがう。つゝ元がちがうので比較などと思ふ。歴史について——小学親の金を持ち逃げつて下さい。



個々の自覚が成功へ

ラスの約半分。中には女子す先がけとして、今年の夏なければできない行事が多

た、行き先が大阪近辺ならい。今、それを軽視するこ

勝山高校——

ては勝山高校は交通

た。我々が特にうらやましいと思ったのは、日当たりの良い食堂、美しい中庭、全面ガラス張りの正面玄関、渡り廊下などがあることだった。

阿倍高の印象については「良い学校だと思う」「男子より女子の方が多い」と思っていた」等をお話してくれた。

とても気さくな人たちで、我々も楽しいひと時を過ごすことができた。

動についても
てみることに
徒会執行部は
長、書記二名
学年代表、運
長で構成され
挙時の立候補
校と同様に少
生が説得して
るので、補欠
そうだ。

の便が悪いので、学校側の許可のステッカーを貼れば良いことになっている。ただし、紛失した場合は、自分の責任になる。一通りインタビューを終えてから、校内を案内してもらったのだが、残念ながら（訪問した時間が悪かったせいか）あまり一般生徒に会えなかつ

ことになる。しかし、よほど良い成績をあげなければ、一般生徒には、練習の成果が認められない。

このような文化部では、余計に室内活動が多いため、ぶんのつながらず、少ない、よ

編輯後記

—夏季行事—

七月二日、がたの三人というクラ
十四日、スもあつた。これは、昨年
二十六日のように全員参加が強制さ
鳥取県、れず、参加者二百名といふ
大山におゝ規程が設けられていた為で
いて、一そこで、この理由を
年生夏季一学年主任の勝田先生に尋
行事が行ねてみた。

まず第一に、全員参加に
鳥取砂丘とすくらぶの合宿等が夏
見学、大季行事と重なつて参加でき
山登山、ない生徒がいること。次に
蒜山（ひクラブの合宿等に行く者は
るぜん）夏季行事にも参加すると、
高原での費用の負担が大きくなるこ
飯炊きと。また、阿倍高は他の公
等、九立高校と比べて行事が多く
はその話うわつた気持ちになりや
すい。勉強に力を入れるべ
き夏休み最初の行事である
だけにそいう傾向をなく
す先がけとして、今年の夏
ななければできない行事が多

夏季行事を自由参加で行うこ
となつた。クラスの親睦
を考えるのも当然だが、そ
れは二年で修学旅行もある
ことだし、今回の目的は、
登山を通じて心身を鍛える
ということで行つた。その
目的を達成するために大
山を選んだところ、宿がと
れず、定員二百名という規
制ができたとのことだつ
た。

こういうわけで、先生方
は一年生に対し「夏休み中
クラブに出る者は出て、そ
れ以外の者のみ参加せよ」
と言われたのである。
しかし、今年は春の遠足
も中止に終わっている。ま
た二学期には文化祭、体育
大会、とクラスがまとまら
なければできない行事が多

今回は、メンバー交代の際
の審判のあり方について考
えてみた。

前回の「春秋クラスマッ
チ」は、取締りがかなり厳
しかつたにもかかわらず、
一個人が試合に幾度も出場
している光景が見受けられ
た。それでは、審判は一体
どうしていたのかというこ
ただけに、夏休み中にクラ
スの親睦を深めるというこ
とも重視すべきではないか
とであらうか。それに自由
参加と決定する前に、なぜ
昨年の利点、楽しさを取り
入れて考慮しなかつたのだ
ろうか。昨年と同じなら、
全員参加でクラスの親睦を
深めることも、からだを鍛
えることもできたのだ。ま
た、行き先が大阪近辺なら
い。今、それを軽視するこ

か試合に出場していないこ
となる。こんなことにな
ると、クラスマッチの本来
の意義である「クラスの親
睦と団結」がおざなりにな
つてしまふ。それだけに、
審判はしっかりしなければ
ならないだらう。だから、
友だちから頼まれても、そ
れを断わり、審判としての
役目を果たすべきである。



中庭にて